

区	分	項	目	大阪北摂霊園 サービス道路舗装道改修工事 特記仕様書																																													
総則	摘	要	(適用)	<p>本工事の施工にあたっては、本特記仕様書によるほか、大阪府都市整備部の「土木請負工事必携」(「土木工事共通仕様書」、「土木工事共通仕様書附則」、「土木工事施工管理基準」及び提出書類様式、各種基準・要綱等をいう。)によるものとし、原則として契約前に入札公告(随意契約による場合は見積り依頼)時における本特記仕様書交付開始日での最新版を適用するものとする。ただし、それ以降に改正等があった場合は、契約期間中に受発注者間で協議の上、必要に応じて最新版の適用に代えるものとする。</p> <p>なお、土木請負工事必携は以下のホームページに掲載している。</p> <p>(<a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/o130030/jigyokanri/giken/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/o130030/jigyokanri/giken/index.html</a>)</p> <p>(優先順位)</p> <p>建設工事請負契約書第1条に定める設計図書の優先順位は、①質問回答書(連絡事項登録を含む。)、②特記仕様書、③図面(数量総括表を含む。)、④土木工事共通仕様書附則、⑤土木請負工事必携(④を除く。)とする。</p> <p>(見積参考資料)</p> <p>設計図書のほかに提示する見積参考資料は、あくまでも見積の参考資料であり、入札参加者の適正・迅速な見積に供するため参考に示した一資料に過ぎず、契約上の拘束力を何ら生じるものではない。このため、施工方法等工事目的物を完成させるために必要な一切の手段については、受注者がその責任において定めること。工事の実施に当たっては、この趣旨を十分に理解し、事故発生等を招かないよう、その防止措置に留意すること。</p>																																													
	工	期	(工期日数)	<p>工期には、施工に必要な実日数(実働日数)以外に以下の事項を見込んでいる。</p> <table border="1"> <tr> <td>①準備期間</td> <td>30日間</td> </tr> <tr> <td>②後片付け期間</td> <td>20日間</td> </tr> <tr> <td>③雨休率</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>④年末・年始抑制期間</td> <td>令和6年12月29日から令和7年1月3日(土日・祝日等を含む) 6日間(土日・祝日等を含む)</td> </tr> </table> <p>ただし、工事発注後に抑制期間に変更が生じた場合は監督職員より指示するものとする。</p>	①準備期間	30日間	②後片付け期間	20日間	③雨休率	1.7	④年末・年始抑制期間	令和6年12月29日から令和7年1月3日(土日・祝日等を含む) 6日間(土日・祝日等を含む)																																					
①準備期間	30日間																																																
②後片付け期間	20日間																																																
③雨休率	1.7																																																
④年末・年始抑制期間	令和6年12月29日から令和7年1月3日(土日・祝日等を含む) 6日間(土日・祝日等を含む)																																																
	施	工	時	<p>【施工時間について】</p> <p>本工事の実施にあたっては、大阪北摂霊園への来客者に影響が及ばないように霊園の営業時間(8:00～17:00)外とする。標準的な作業時間を17:00～26:00とし、作業時間の変更を申し出る場合は監督職員と協議を行うこととする。ただし、受注者の申し出による作業時間の変更は設計変更の対象としない。</p>																																													
	受	注	者	<p>(関連工事の調整)</p> <p>本工事区間に一部重複・接近して、墓石工事予定のため、施工に際しては、施工者にて相互連絡調整を密に行うこと。</p> <p>また、必要に応じて監督職員と協議するものとする。</p>																																													
	建	設	副	<p>(特定建設資材の分別解体等・再資源化等への適切な措置)</p> <p>本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書の「解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。</p> <p>① 分別解体等の方法</p> <p>(建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)の場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工</th> <th>程</th> <th>作</th> <th>業</th> <th>内</th> <th>容</th> <th>分</th> <th>別</th> <th>解</th> <th>体</th> <th>等</th> <th>の</th> <th>方</th> <th>法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">工 程 こ と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法</td> <td>①仮設</td> <td>仮設工事</td> <td colspan="2"></td> <td>□手作業 □手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>②土工</td> <td>土工</td> <td colspan="2"></td> <td>□手作業 □手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>③基礎</td> <td>基礎工事</td> <td colspan="2"></td> <td>□手作業 □手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>④本体構造</td> <td>本体構造の工事</td> <td colspan="2"></td> <td>□手作業 □手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>⑤本体付属品</td> <td>本体付属品の工事</td> <td colspan="2"></td> <td>□手作業 □手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>⑥その他 (アスファルト他)</td> <td>その他の工事</td> <td colspan="2"></td> <td>□手作業 ■手作業・機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない</p>	工	程	作	業	内	容	分	別	解	体	等	の	方	法	工 程 こ と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	①仮設	仮設工事			□手作業 □手作業・機械作業の併用	②土工	土工			□手作業 □手作業・機械作業の併用	③基礎	基礎工事			□手作業 □手作業・機械作業の併用	④本体構造	本体構造の工事			□手作業 □手作業・機械作業の併用	⑤本体付属品	本体付属品の工事			□手作業 □手作業・機械作業の併用	⑥その他 (アスファルト他)	その他の工事			□手作業 ■手作業・機械作業の併用
工	程	作	業	内	容	分	別	解	体	等	の	方	法																																				
工 程 こ と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	①仮設	仮設工事			□手作業 □手作業・機械作業の併用																																												
	②土工	土工			□手作業 □手作業・機械作業の併用																																												
	③基礎	基礎工事			□手作業 □手作業・機械作業の併用																																												
	④本体構造	本体構造の工事			□手作業 □手作業・機械作業の併用																																												
	⑤本体付属品	本体付属品の工事			□手作業 □手作業・機械作業の併用																																												
	⑥その他 (アスファルト他)	その他の工事			□手作業 ■手作業・機械作業の併用																																												

区	分 項	目	大阪北摂霊園 サービス道路舗装道改修工事 特記仕様書																
			<p>② 再資源化等をする施設の積算上の所在地</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特定建設資材 廃棄物の種類</th><th>所在地</th><th>受入条件</th><th>摘要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト塊(掘削)</td><td>茨木市大字泉原650番地1</td><td>夜間</td><td></td></tr> <tr> <td>廃路盤材</td><td>茨木市大字泉原650番地1</td><td>夜間</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※上記②については積算上の条件明示であり、再資源化施設を指定するものではない。          なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場          条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。</p>	特定建設資材 廃棄物の種類	所在地	受入条件	摘要	アスファルト塊(掘削)	茨木市大字泉原650番地1	夜間		廃路盤材	茨木市大字泉原650番地1	夜間					
特定建設資材 廃棄物の種類	所在地	受入条件	摘要																
アスファルト塊(掘削)	茨木市大字泉原650番地1	夜間																	
廃路盤材	茨木市大字泉原650番地1	夜間																	
	施 工 管 理		<p>(試験・規格値)            本工事の施工に伴い実施する品質管理試験は、土木工事施工管理基準及び規格値によるものとす            品質及び出来形の規格値は、土木工事施工管理基準及び規格値によるものとする。</p>																
	交 通 安 全 管 理		<p>(保安施設)            本工事で使用する保安施設については、「道路工事保安施設設置基準(案)」によるものとする。なお、            保安施設標準様式図7-⑦の表示内容は以下を記入するものとする。            [表示内容]  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             この工事は、舗装路面の破損や不陸を解消し、平坦で快適な道路とする              ための修繕工事を行っています。           </div> </p> <p>(交通誘導警備員の配置について)            本工事において、閉園時間での作業であることから工事関係者以外の現場への入場はないものとし、            通行車両及び歩行者への交通の影響はないため、交通誘導員の配置は求めない。ただし、監督職員の            指示による昼間施工の変更等、やむを得ない事情により交通誘導員の配置が必要と認められる場合は            変更協議の対象とする。</p>																
材	料	工事材料の品質・ 検 査 ( 確 認 )	<p>(品質証明書等)            受注者は、工事に使用する材料のうち土木工事施工管理基準 品質管理基準及び規格値に示す材料            の他に、監督職員の指示した材料の使用にあたっては、その外観及び品質証明書等を照合して確認し            た資料を事前に監督職員に提出し、確認を受けなければならない。            工事材料については、施工計画書に材料名、品質、規格等を記載するものとする。</p>																
そ の 他			<p>※受注後現地測量を実施し、縦横断測量データ内容については監督職員と確認すること。            ・積算数量と差異がある場合は、変更協議の対象とします。            ・施工時は、墓参者、墓参車両等に対し十分配慮し、安全に施工すること。            ・土曜日、日曜日、祝日の作業は原則禁止する。            ただし緊急時等でやむを得ない場合は、監督職員と協議すること。            ・霊園内には、路線バスが運行しているので、通行の妨げにならないよう注意すること。            ・工事は墓石に面した箇所を実施するので、施工時の埃や振動には、十分気を付け作業すること。            また、乳剤散布時に乳剤が飛散し墓石等に付着しないように養生等を行い作業すること。            (墓石等へ汚れの付着、傷、損傷には気を付けること)            ・工事は、本特記仕様書によるものの他、監督職員の指示により施工するものとする。</p>																